



第 15 回 科学巡回指導訪問・教員対象研修会 登米市立西郷小学校

令和6年10月24日

デモンストレーション

- 液体窒素で極低温の世界へ
- 空気砲 発射!
- 空高く舞い上げれ 熱気球
- 飛べ! ペットボトルロケット

教育対象研修会

- 講義「小学校の理科指導」
- 演習「全国学力・学習状況調査の結果を活用した授業改善」
- 理科教育相談、薬品の取扱と管理

理科教室

- エアカー教室 1年生
- ものづくり教室 2年生
- 観察教室 3年生
- 実験教室 4年生
- STEAM教室 5年生
(MESH)
- プログラミング教室 6年生
(BOLT)

感想

気球が飛んでいるのを見たことはあったけど、近くで見たのは初めてだったので、大きさにびっくりしました。気球の中の空気が熱いことをはじめて知りました。うーちゃん作りが楽しかったです。(2年生)

科学巡回訪問の実験で一番驚いたことは、液体窒素の実験です。まず、液体窒素の温度がマイナス196度なのがびっくりしました。北極と2、3倍も違うのがびっくりしました。バラを入れたら凍るのは予想していたけど、ちょっとにぎっただけでパリパリになるのがびっくりしました。理科の実験が面白いことを知ったので、自分でもいろいろな実験をしたいと思いました。(4年生)

ペットボトルロケットでは、自分たちが作ったロケットの3倍近く飛んでいたの、こんなに飛ぶのだなと思いました。

最後のロボットのプログラミングでは、思うように動いてくれなかったこともあったけど、上手く動かせてよかったです。この経験を理科や生活に生かしていきたいです。(6年生)

